

4 世帯の状況

(1) 世帯人員

母子世帯の平均世帯人員は、3.36 人となっており、前回調査と比べ、0.15 人増加している。

また、死別世帯の方が、生別世帯より世帯人員が多い。

一方、父子世帯の平均世帯人員は、3.97 人となっており、母子世帯より多い。

表4 - (1) - 1 母子世帯の世帯人員

	総 数	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	平均 世帯人員
平成10年	(100.0)	( 33.4)	( 35.2)	( 18.1)	( 8.0)	( 2.8)	( 2.4)	3.21人
平成15年 総 数	千世帯 1,225.4 (100.0)	369.4 ( 30.1)	432.8 ( 35.3)	221.3 ( 18.1)	102.3 ( 8.3)	59.1 ( 4.8)	40.6 ( 3.3)	3.36人
死 別	147.2 (100.0)	27.3 ( 18.6)	59.9 ( 40.7)	31.7 ( 21.6)	16.7 ( 11.4)	6.2 ( 4.2)	5.3 ( 3.6)	3.56人
生 別	1,076.4 (100.0)	340.3 ( 31.6)	372.9 ( 34.6)	189.5 ( 17.6)	85.5 ( 7.9)	52.9 ( 4.9)	35.3 ( 3.3)	3.34人

(注) 「世帯人員」とは、本人と子、両親、兄弟姉妹、祖父母等を含めた人員。

「世帯人員」の用語の定義は以下同じ。

表4 - (1) - 2 父子世帯の世帯人員

	総 数	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	平均 世帯人員
平成10年	(100.0)	( 26.8)	( 28.1)	( 23.8)	( 13.2)	( 4.3)	( 3.8)	3.54人
平成15年 総 数	千世帯 173.8 (100.0)	32.5 ( 18.7)	48.7 ( 28.0)	40.1 ( 23.1)	21.0 ( 12.1)	19.1 ( 11.0)	12.4 ( 7.1)	3.97人

(2) 母子世帯の世帯構成

子ども以外の同居者がいる母子世帯は 37.3 %となっている。

同居者の全ての種別において、その構成割合が前回調査と比べ増加しており、このうち「親と同居」が 24.7 %と最も多く、前回調査と比べ 1.7 %増加している。

表4 - (2) 世帯の構成

区 分	総 数	母子のみ	同居者あり	同居者の種別 (割合は総数との対比)			
				親と同居	兄弟姉妹	祖父母	その他
平成10年	(100.0)	( 70.9)	( 29.1)	( 23.0)	( 5.9)	( 2.2)	( 5.5)
平成15年 総 数	千世帯 1,225.4 (100.0)	768.7 ( 62.7)	456.6 ( 37.3)	303.3 ( 24.8)	104.9 ( 8.6)	45.8 ( 3.7)	177.2 ( 14.5)
死 別	147.2 (100.0)	81.1 ( 55.1)	66.1 ( 44.9)	30.0 ( 20.4)	4.4 ( 3.0)	7.1 ( 4.8)	47.6 ( 32.3)
生 別	1,076.4 (100.0)	685.8 ( 63.7)	390.5 ( 36.3)	273.3 ( 25.4)	100.5 ( 9.3)	38.8 ( 3.6)	129.6 ( 12.0)

(注) 同居者の種別については複数回答。